資料９

流山市こども計画の事業評価（令和７年度）に対する委員からの質問・意見及び回答

事業番号	こどもの権利の視点	事業名	意見・質問概要	回答	担当課
共通	○	―	こどもの権利の視点から行う事業評価を実施してみて、担当課の反応はどのような感じだったのでしょうか。	今年度から庁内職員向けの研修会等を始めたので、その中で考え方を伝えました。「こどもたちの最善の利益」を考えて、こどもたちのためにしっかりとやっているかどうか振り返ることが目的で、評価するだけの仕事ではないので、そこは履き違えないようにしないといけないと思っています。「こどもの最善の利益」を考えて動けるようになれば、それがおのずと評価の書き方にも繋がってくるのだろうと思います。そのために、今後も継続的に職員に周知啓発をしていきながら、こどもの権利を職員の人たちにも理解していただいて、そして、各事業がよりこどもの権利を意識したものになるように、引き続き努力していこうと思います。	こども未来課
共通	○	―	外国籍のこどもはどんどん増えているけれど、その視点が全然入っていないです。障害を持たれている方へというのは、それなりにできているのに、そこが全く吸い上げがないことが気になっています。	今回、初めてこのような評価の方法をやってみましたが、今回の課題として、来年度以降の評価に向けて、また改めて内部でも検討していきたいと思います。	こども未来課
共通	○	―	こどもの権利の視点から行う事業評価が、常に担当部署が何をしたというような表現になっています。こどもがどうだったとか、こどもの状態がどうなったとか、こどもがどう思ったということも、こどもからの視点が評価として書かれているところがあったらと感じました。こどもがどうだったというような目線で書いていけるようになると、こどもの権利がみんなに伝わっていくようになるのではないかと思いました。	今回、初めてこのような評価の方法をやってみましたが、今回の課題として、来年度以降の評価に向けて、また改めて内部でも検討していきたいと思います。	こども未来課
1	○	こどもの権利保障に関する周知・啓発	こどもの権利の視点から行う事業評価の②③④で同じ事業評価が続けて出ています。「出産前からこどもの権利について理解が進むよう、全ての妊婦にリーフレットを配布しました。」となっていますが、全部同じ評価になっていると、本当に読んだのかなと思えました。②「こどもの最善の利益」の視点だとこれになるのかなと思いますが。	リーフレットに目を通していただくことで、こどもに権利があることや、「こどもの最善の利益」、「命を守られ成長できること」、「こどもの意見の尊重」の意味や重要性を把握することができるため、同じ評価内容となっています。	こども家庭センター
1	○	こどもの権利保障に関する周知・啓発	学校は人権イコールいじめだけみたいな感じで受け取れたので、いじめ予防授業だけでなく、こどもの権利を学んでいけるようなことが必要ではないでしょうか。こどもの権利、人権はいじめのことだけではないということを言いたいと思いました。	学校では、人権教育として、いじめに関することだけでなく、障害のある人や外国の人、インターネットの適切な利用、性の多様性など様々な人権課題について児童生徒の発達段階に応じて学ぶ機会を設けています。 また、こどもの権利については令和８年度に全教職員を対象とした研修を実施するとともに、市内８校において、児童生徒がワークショップを通して学ぶ機会を設けました。 今後も、児童生徒が様々な人権課題やこどもの権利について理解を深めることができるよう、人権教育の充実に努めてまいります。	指導課
13	○	こどもの体験学習の推進	こどもの権利の視点から行う事業評価②親子の参加の場合、躾の重要さを親が再認識することもあり、親子共に良い変化が見られた。とのことですが、もう少し具体的にどのようなことだったのかを可能でしたら教えてください。	茶道や煎茶教室は単に体験するだけでなく、礼や作法を親子で学ぶ（再認識、気付かせる）ことが目的です。講座では、挨拶や相手を敬う気持ちや配慮、畳の縁を踏まない等の礼儀・作法を学ぶが、親からは「これは躾の基本でもある」、という会話が聞かれたことがあるため、事業評価に記載したものです。	博物館